

Focus on!

国際交流ステーション

市町村や市町国際交流協会、NGO/NPO などの活動紹介や最新ニュースをお届けするコーナーです。



愛知県立津島高等学校（令和2年度国際交流推進功労者表彰受賞団体）

津島高等学校は、令和2年に創立120周年を迎えた県内有数の伝統校です。平成30年12月には愛知県知事、県の国際課を通じてタイ・バンコクのワットスッターラム高校と姉妹校提携を結び、令和元年9月からスカイプを通じた交流を行っています。その交流の様子は、外務省のホームページ「グローバル外交ネット」*に掲載されました。

国際交流の取組は、スカイプ交流ではありません。本校が地元の魅力の発信拠点となるべく、津島市観光協会や市長公室・シティプロモーション課と連携して様々な活動を行っています。海外からの来訪者に向けて、地元の祭をはじめとする伝統文化の紹介と理解を目指し、平成30年から尾張津島天王祭と秋まつりにおいて、英語及び中国語によるアナウンスボランティアとして生徒が参加しています。また、翌年には津島市の短編映画の英語字幕版作成にも協力しました。生徒が短編映画のセリフを外国人に伝わりやすい英語で字幕挿入し、YouTubeで世界に向けて発信したのです。



▲ 秋まつりのアナウンスボランティア



▲ 小学校での英語出前授業

以上の多文化共生推進の取組に加えて、地元の小学校への英語出前授業を年2～3回実施しています。小学校では英語専任の先生やALTが配置される学校が増えてきていて、言葉や文化に対する理解を深めたり、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育成したりすることが求められています。高校生による出前授業が、小学生の、そして高校生自身の国際理解につながるものと期待しています。

今後本校では、海外に目を向けながらも、軸足は地元にした活動を続けていきます。そして現在のコロナ禍における国際交流に当たっては、「避けるべき3Cs（Closed spaces, Crowded places, Close-Contact settings）」というネガティブなスローガンではなく、「推進すべき3Cs（Challenge, Creativity, Communication）」というポジティブなスローガンを掲げて生徒を導いていきたいと考えています。

*外務省のウェブサイト「グローバル外交ネット」 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/local/page22_003516.html

